

インフォコム株式会社 決算説明会

2005年度決算	(2005年4月～2006年3月)
2006年度業績見通	(2006年4月～2007年3月)

2006年5月17日

2005年度決算（2005年4月～2006年3月）

基本方針

主要施策

インフォコムグループの構成

業績の総括

投資実績

株主の状況

■2005年度 基本方針

グループ経営元年

売上高 連単倍率 1:1.1

既存グループ会社の強化

インフォベック社を核にGRANDIT事業の拡大加速
NSC社の単年度黒字化と新規事業への進出

戦略的なグループ会社化

コア事業強化・事業シーズ取得を狙ったグループ会社化は継続
新たな事業提携や事業統合、事業運営の効率化を推進

国内販売拠点の整備

医療情報関係はインフォコム西日本社を活用し九州に拠点
GRANDIT事業はコンソーシアムを活用

海外拠点の整備

SYSCOM(USA)社との提携を強化

■2005年度 基本方針

事業ポートフォリオの再編とフロンティア事業本部の設置

ソリューション・セグメント(携帯電話事業者向け、企業向け、医療・公共向け事業)
モバイル事業は開発体制を強化業容拡大へ
エンタプライズ事業はGRANDIT事業を核に成長を加速
ライフサイエンス事業は全国的な販売網、保守体制の整備

サービス・セグメント(企業向け、消費者向け事業)
インフォコマース事業はNSC社を収支均衡し利益ある成長へ移行
データセンター事業は基盤整備へ

フロンティア・セグメント 抜本的事業再構築
3年以内の早期コア事業への昇格を目指す
新規事業の追求

■2005年度 主要施策

グループ業容の拡大/再編



コンピュータシティ社のグループ会社化
ソリューション事業の開発体制の大幅強化

米SYSCOM(USA) Inc.のグループ会社化
データセンター事業の日米間サービスシームレス化
「GRANDIT」の北米地域展開の拠点

ログイット社のグループ会社化
音声関連ビジネスの製品・技術・顧客基盤の大幅強化

イメージシティ社発足
コンピュータシティ社とイメージパートナー社を合併

企業向け事業の展開

GRANDIT事業、コンソーシアムの拡充と活動活発化
コンソーシアムの体制の拡充継続
オージス総研、ミロク情報サービスの活動開始
米国仕様(英語版)の開発
日本版SOX法対応や内部統制機能等の機能の拡充

データセンターサービス事業拡大
データセンター自社保有
オージス総研社との協業によるディザスタリカバリ機能強化

■2005年度 主要施策

医療・公共向け事業の展開

福岡オフィスの開設、インフォコム西日本と共同展開
九州地域のサポート/営業体制強化
新ソリューションの投入開始
「医療用語辞書」ソリューション

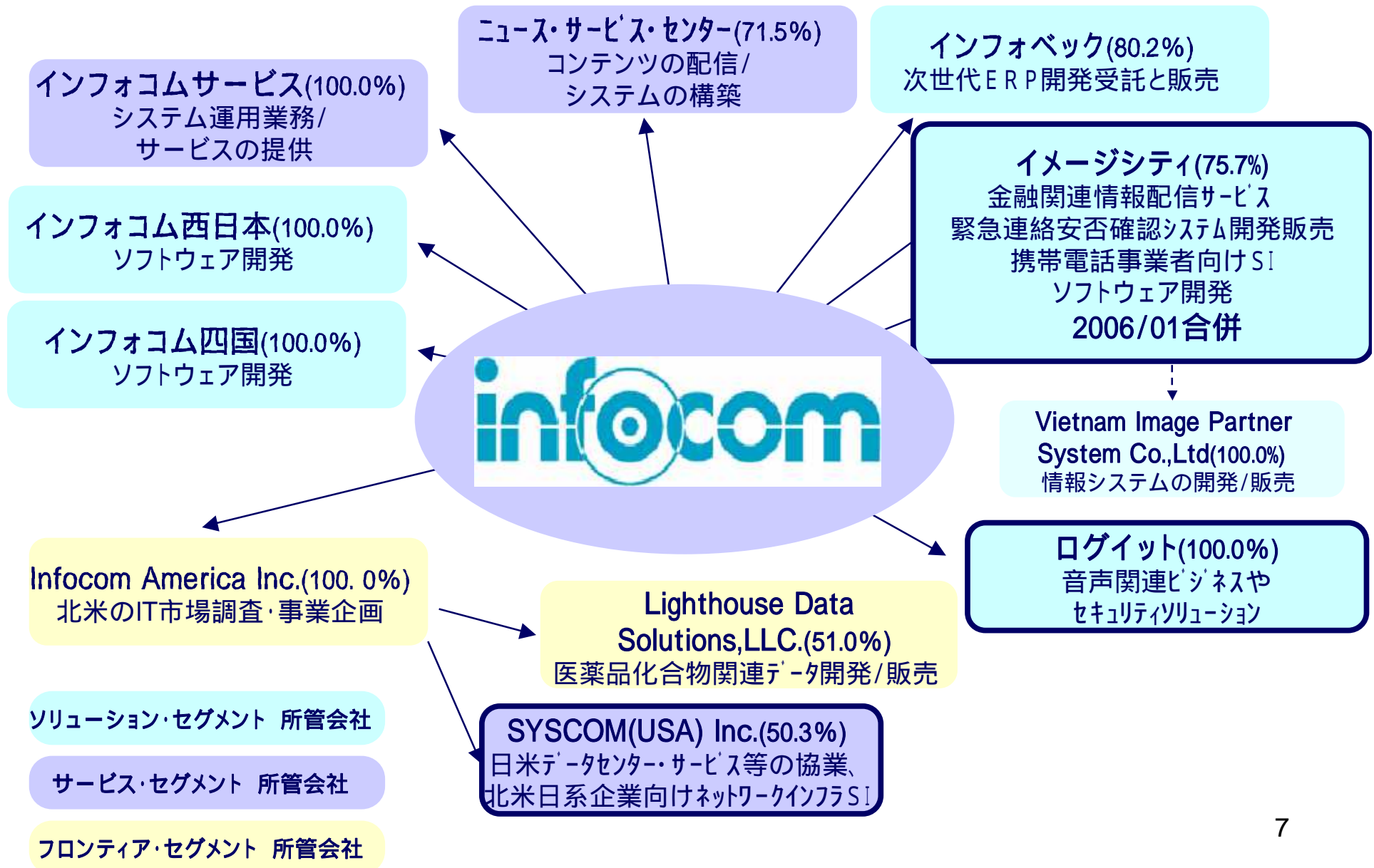
消費者向け事業の展開

ニュース・サービス・センター
広告事業モデルの確立へ
魅力あるメディアへの成長施策を積極的に推進
ex.営業、運営体制及び事業構造の抜本の見直し
ex.「The News (無料)」コンテンツの充実
「派遣情報」(人材派遣求人情報)
「The News Loan」(パーソナルローン)
ex.非公式サイト「The GATE」スタート
検索型広告サービスの提供開始
音楽系コンテンツやモバイルコマースの拡充
公式着うたサイト「めちゃうた」開始
着信メロディサイト「めちゃメロ」ブランドに統一
「めちゃうま」開始

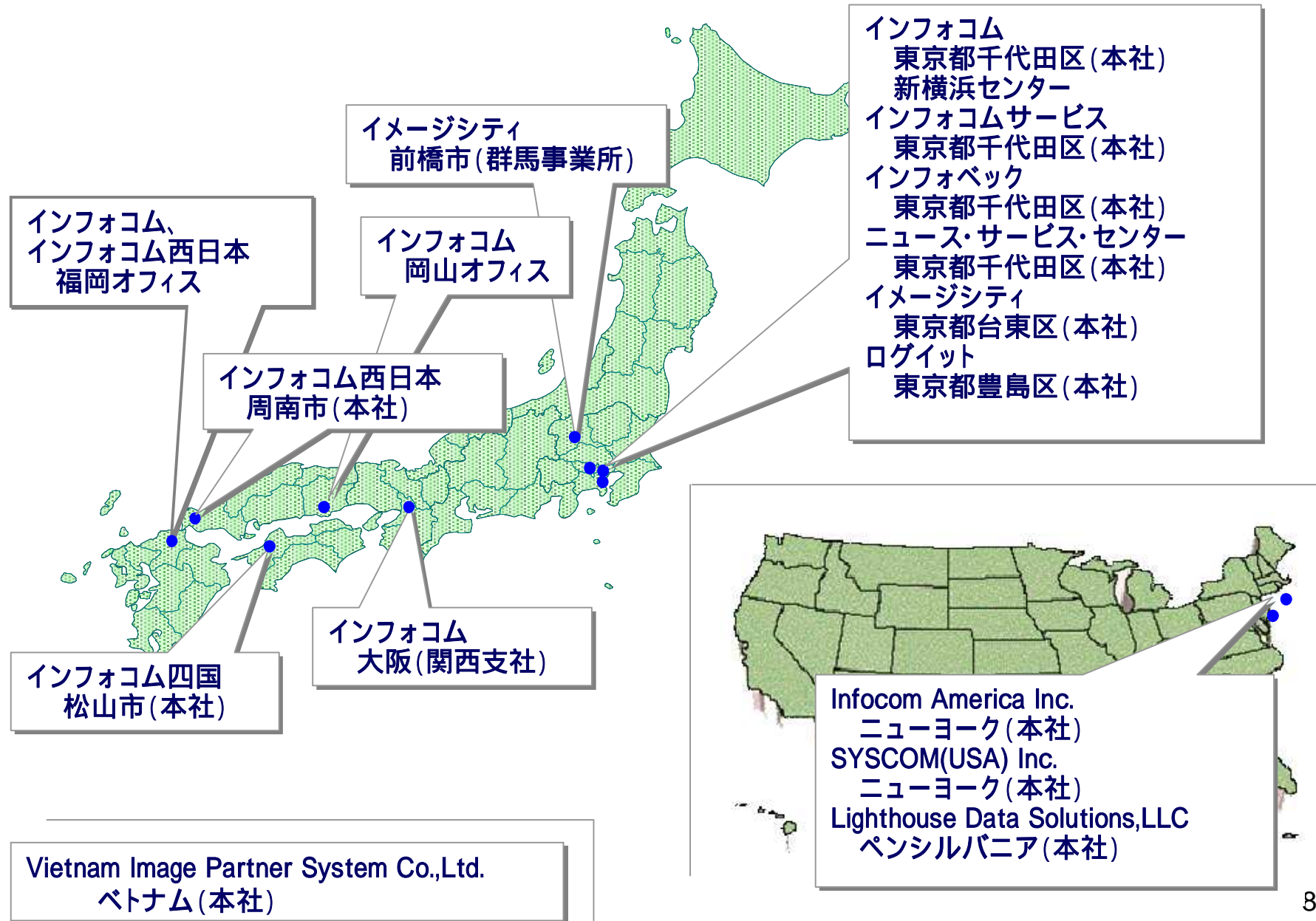
フロンティア事業の推進

フロンティア事業本部発足
構造改革が必要な事業を集約

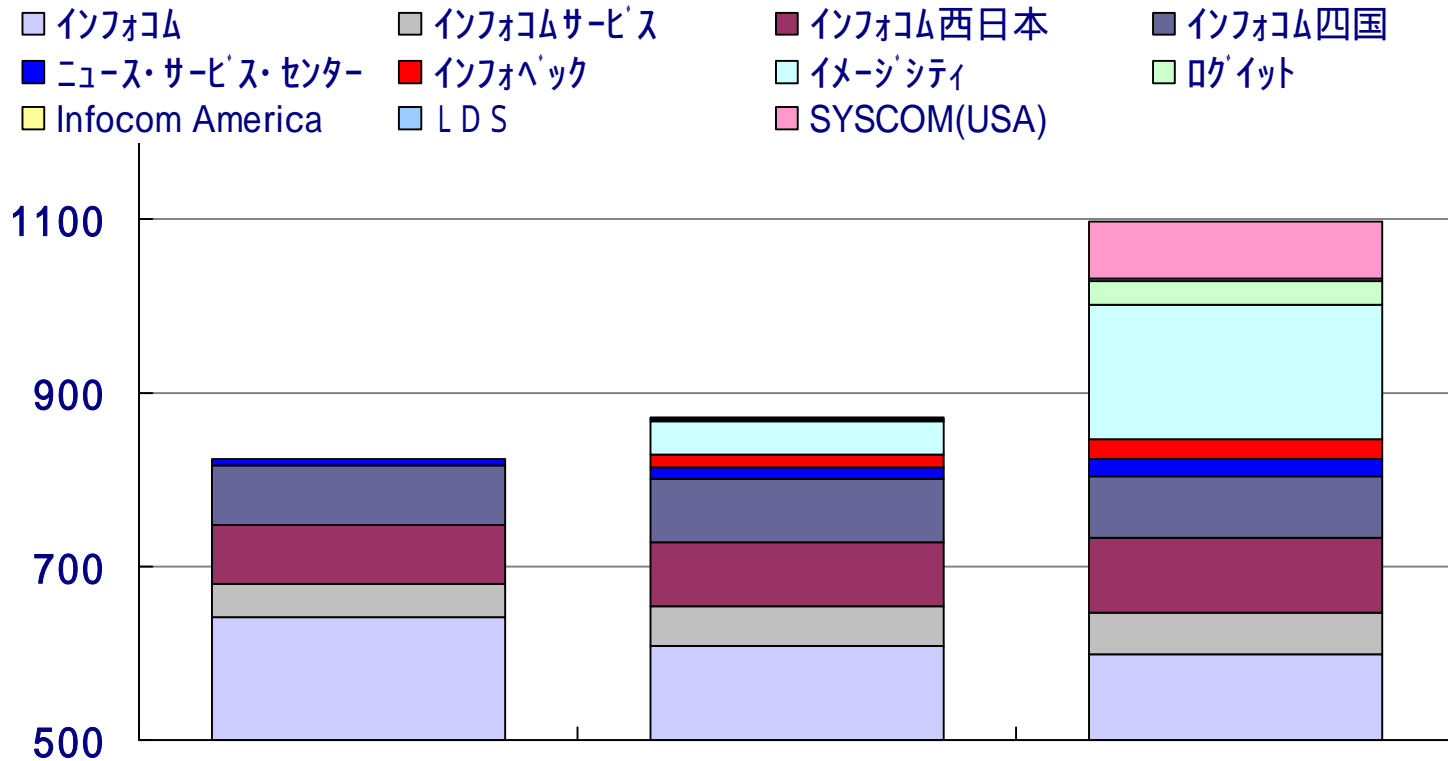
■インフォコムグループの構成 (太枠囲いが新規子会社)



■インフォコムグループの構成 拠点展開



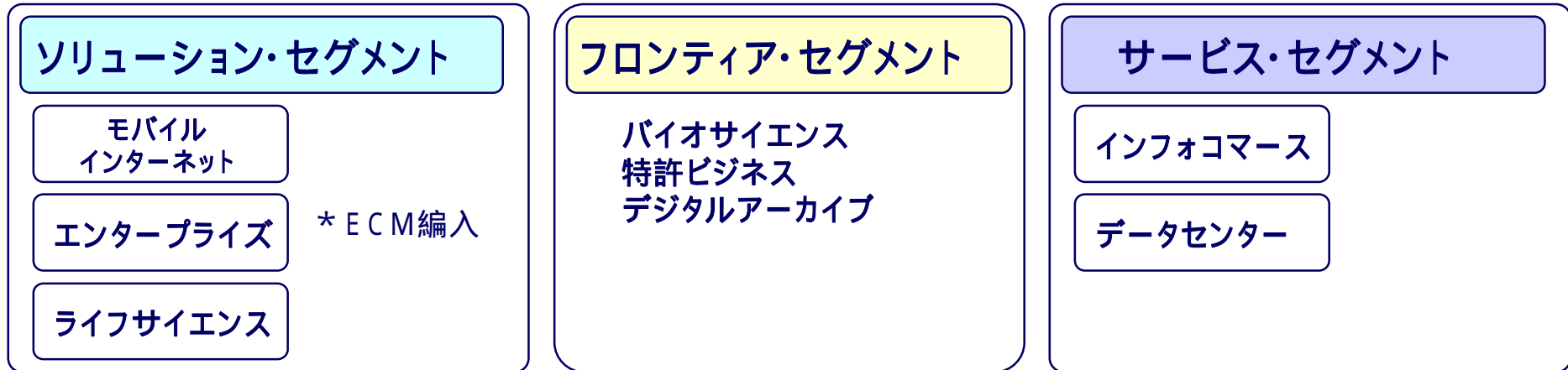
■インフォコムグループの構成 人員構成



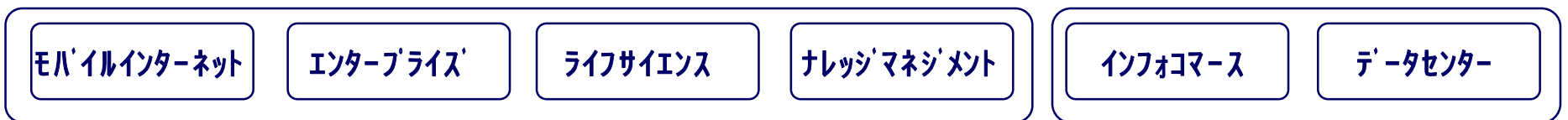
	2003年度	2004年度	2005年度
インフォコム単体	643名	609名	600名
グループ会社	182名	262名	498名
合計	825名	871名	1,098名
増減		インフォバック設立 イメージパートナー子会社化	コンピュータシティ、SYSCOM、 Rait子会社化

■事業ポートフォリオ

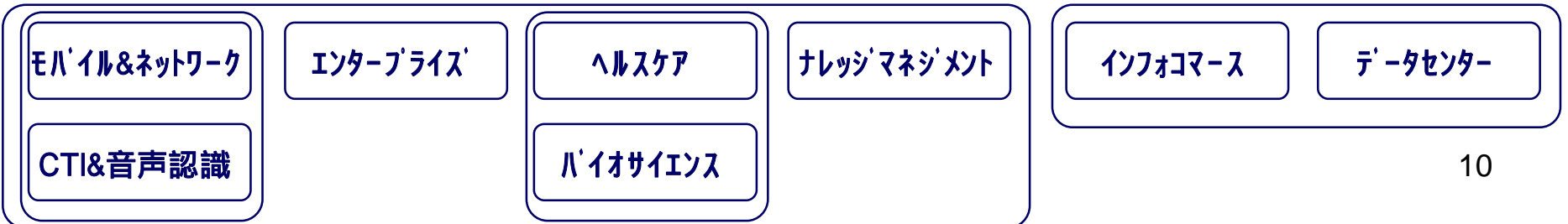
2005年度



2004年度



2003年度

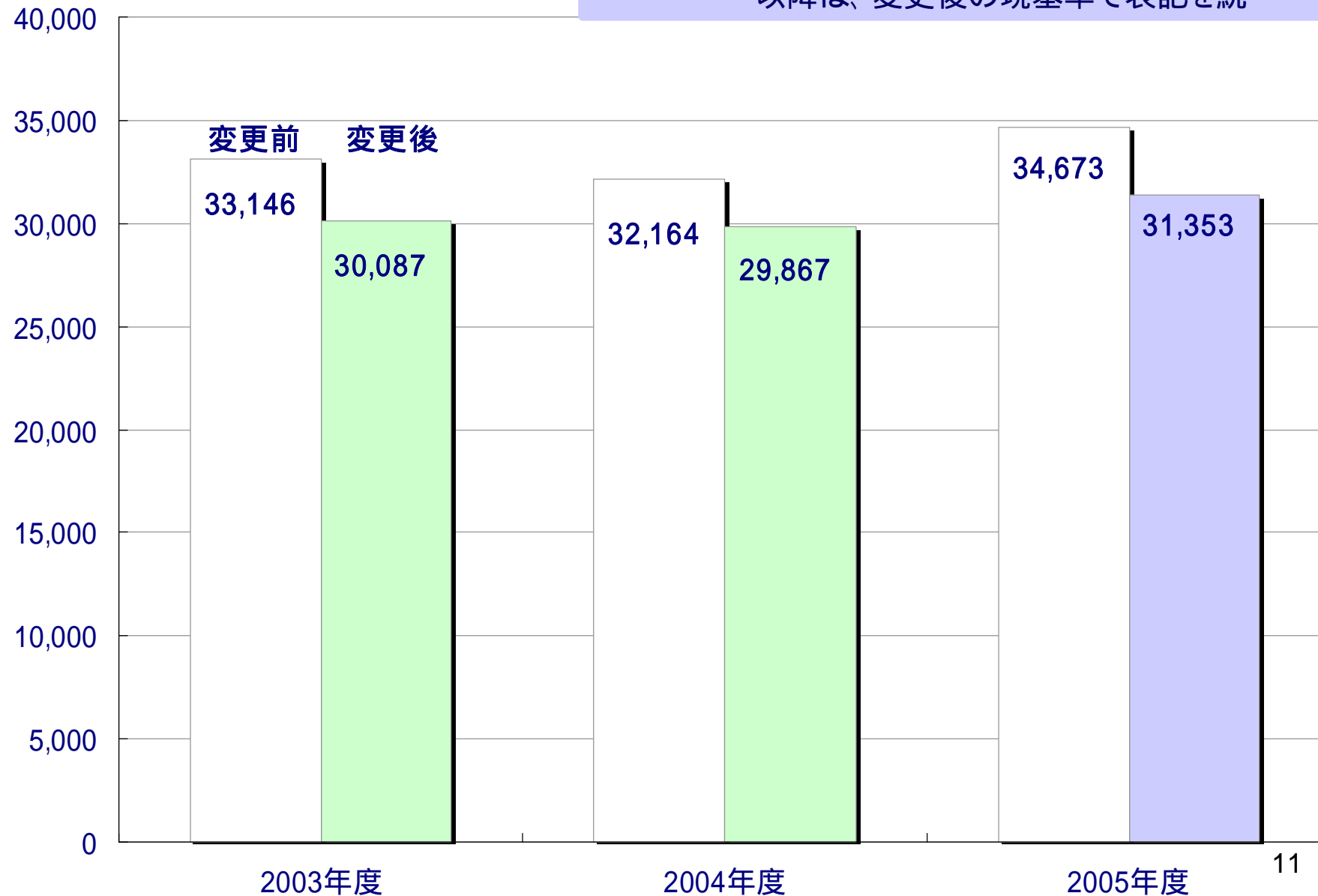


■売上計上基準の変更について

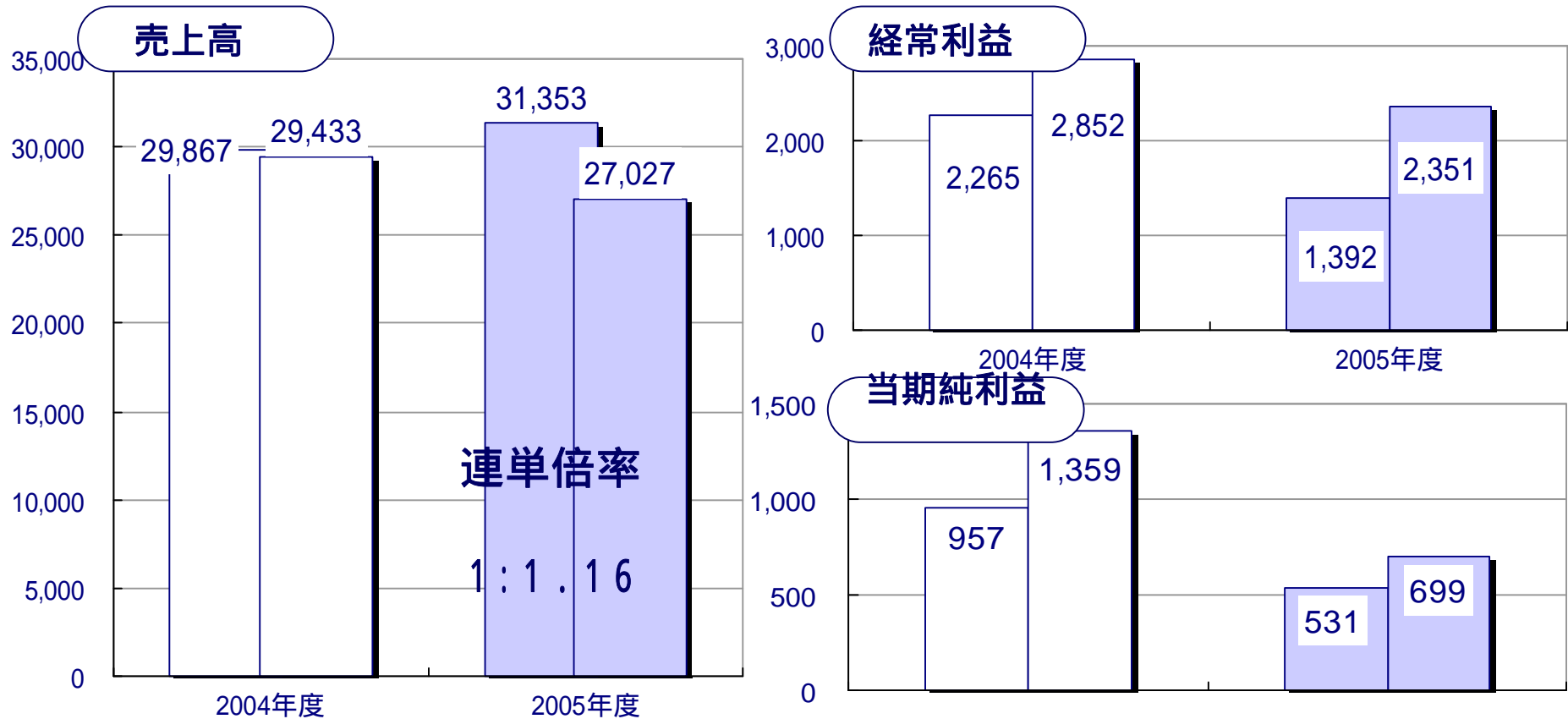
「取扱高」計上から「販売手数料」計上に変更

- ・音楽コンサートチケット等の販売方針を転換
- ・音楽業界のインフラ機能の提供を重視
- ・以降は、変更後の現基準で表記を統一

百万円単位



■前期との対比による業績の総括 百万円単位、棒グラフ左:連結 右:単体

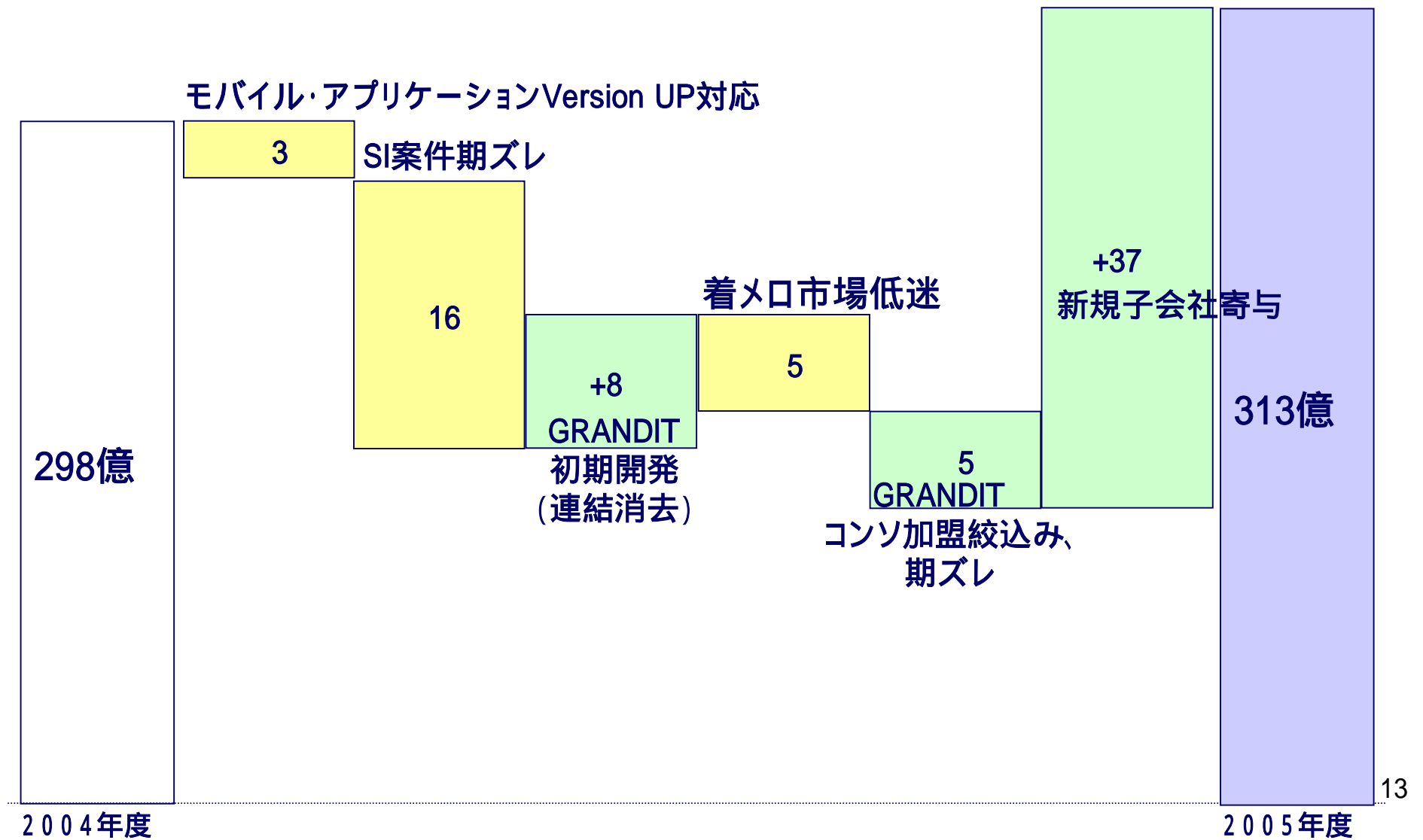


2004年度	2005年度	連結	単体	2004年度	2005年度
29,867	31,353	売上高		29,433	27,027
2,203	1,470	営業利益		2,727	2,297
2,265	1,392	経常利益		2,852	2,351
957	531	当期純利益		1,359	699
7.0%	4.4%	経常利益率		9.0%	8.7%

■前期との対比 連結売上高 億円単位

差異事由 : 金額:単体

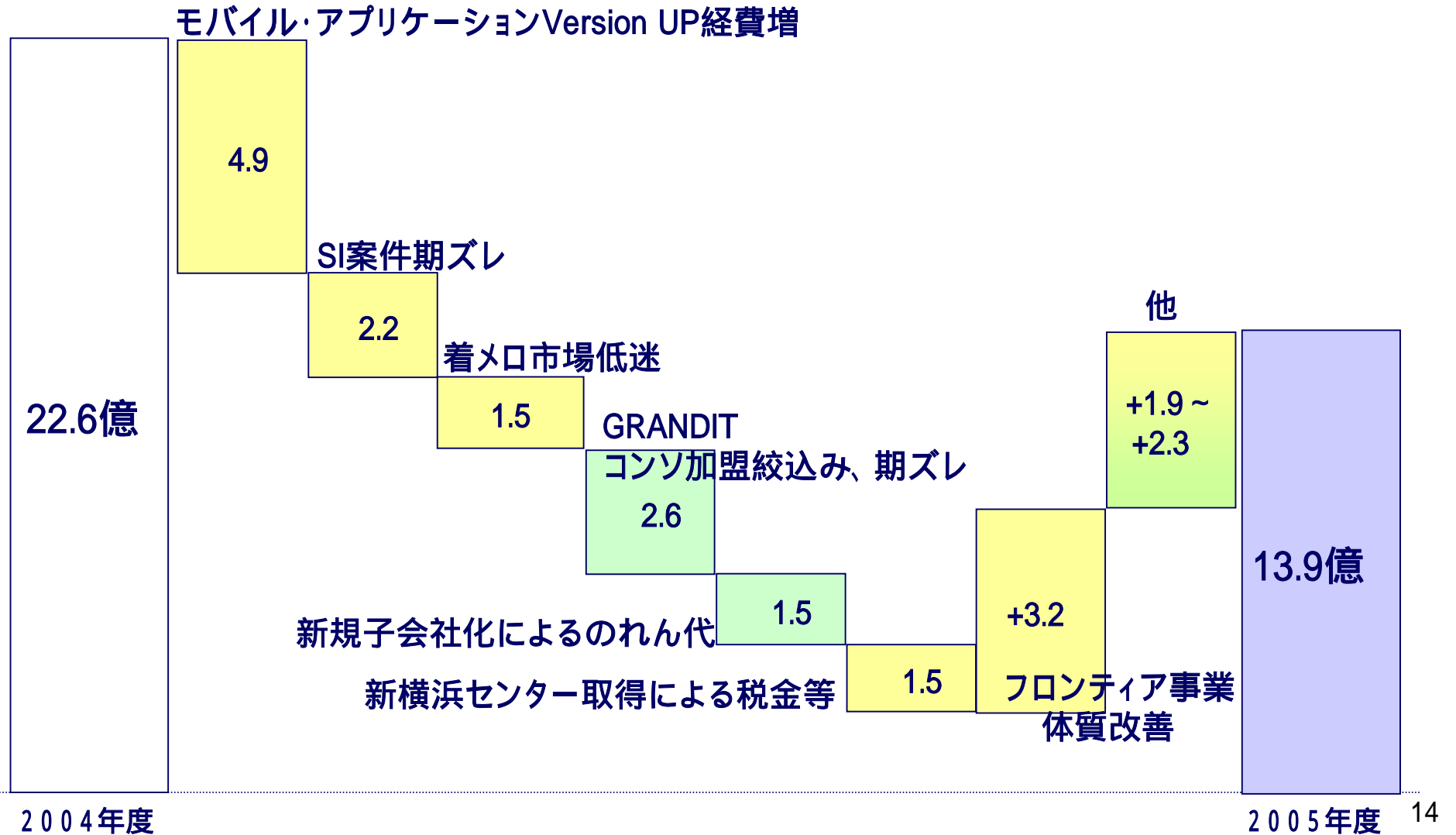
差異事由 : 金額:連結



■前期との対比 連結経常利益 億円単位

差異事由 : 金額:単体

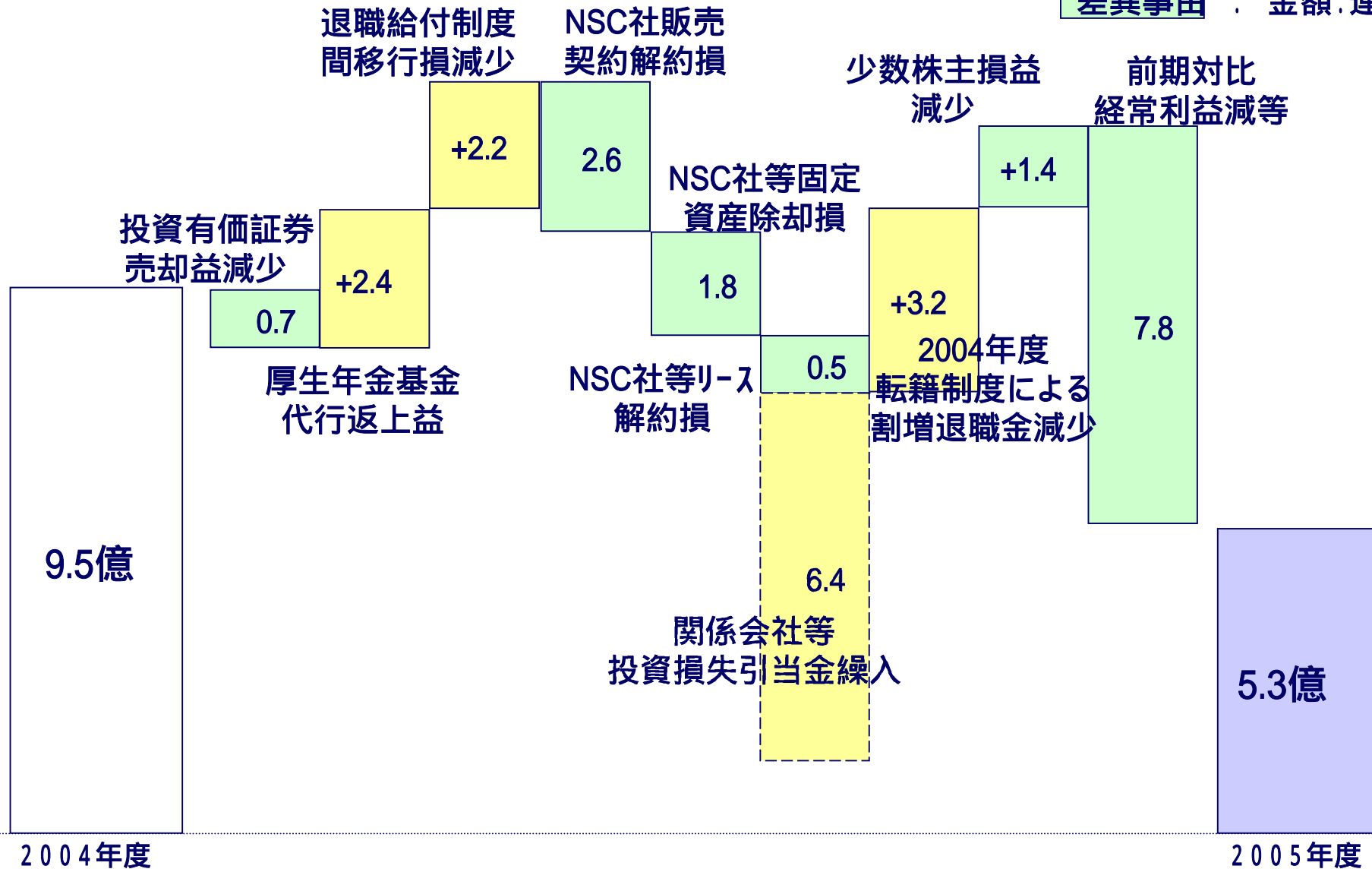
差異事由 : 金額:連結



■前期との対比 連結当期純利益億円単位

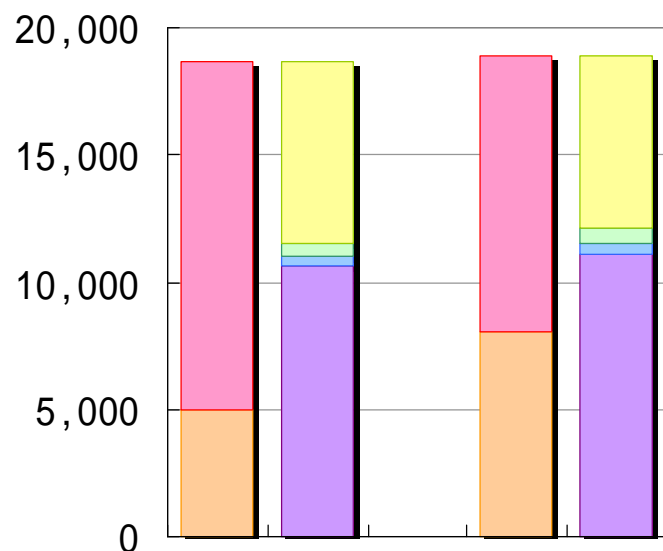
差異事由 : 金額:単体

差異事由 : 金額:連結



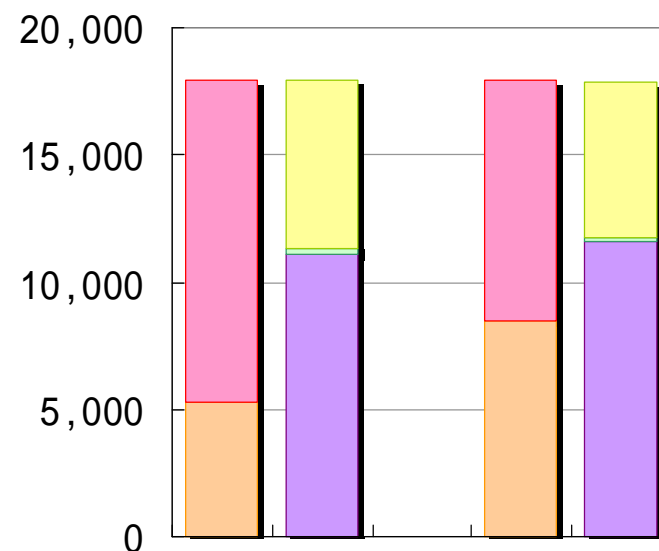
■業績の総括 貸借対照表 百万円単位

連 結



	2004年度	2005年度
■ 流動資産	13,689	10,903
■ 固定資産	4,954	8,018
資産計	18,644	18,922
■ 流動負債	7,143	6,775
■ 固定負債	494	623
負債計	7,638	7,399
■ 少数株主持分	349	453
■ 資本計	10,656	11,070
負債/少数株主/資本	18,644	18,922
株主資本比率	57.2%	58.5%

単 体



	2004年度	2005年度
■ 流動資産	12,625	9,374
■ 固定資産	5,261	8,509
資産計	17,886	17,883
■ 流動負債	6,595	6,152
■ 固定負債	229	144
負債計	6,825	6,297
■ 資本計	11,060	11,585
負債/資本	17,886	17,883
株主資本比率	61.8%	64.8%

■業績の総括 貸借対照表 増減理由 百万円単位

<p>■現預金 4,671 1,368(3,302)</p>	<p>新横浜データセンター取得(1,508) ソフト等無形固定資産の取得(1,276) 子会社株式取得による増減(599)</p>
<p>■連結調整勘定 402 1,601(+1,198)</p>	<p>連結子会社化による コンピュータシティ社(+268)、ログイット社(+492) SYSCOM社(+258)、NSC社(+205)他</p>
<p>■固定資産 4,954 8,018(3,064)</p>	<p>新横浜データセンター取得(1,508) ソフト等無形固定資産の取得(1,276)</p>
<p>■投資有価証券 473 296(177)</p>	<p>SYSCOM社株式が「子会社株式」に振り替わり(163)他</p>
<p>■一年内返済予定の長期借入金 105 146(+41)</p>	<p>イメージシティ社(+41)</p>
<p>■長期借入金 186 301(+114)</p>	<p>コンピュータシティ社の長期借入金の連結(+213) イメージシティ社の長期借入金(99)他</p>

■業績の総括 キャッシュフロー 百万円単位

	2003年度	2004年度	2005年度
営業キャッシュフロー	923	2,591	495
投資キャッシュフロー	-850	-1,147	-3,503
財務キャッシュフロー	-427	248	-629
現金及び現金同等物に係る換算差額等	70	-11	29
現金及び現金同等物の増減額	-283	1,680	-3,608
現金及び現金同等物の期首残高	3,553	3,270	4,951
現金及び現金同等物の期末残高	3,270	4,951	1,343

前期対比 主たる差異事由

営業CF

税前利益の減少 595

下記減少による収入の減少

・売上債権 990

・棚卸資産 937

投資CF

設備投資の増加 2,112

子会社取得 527

財務CF

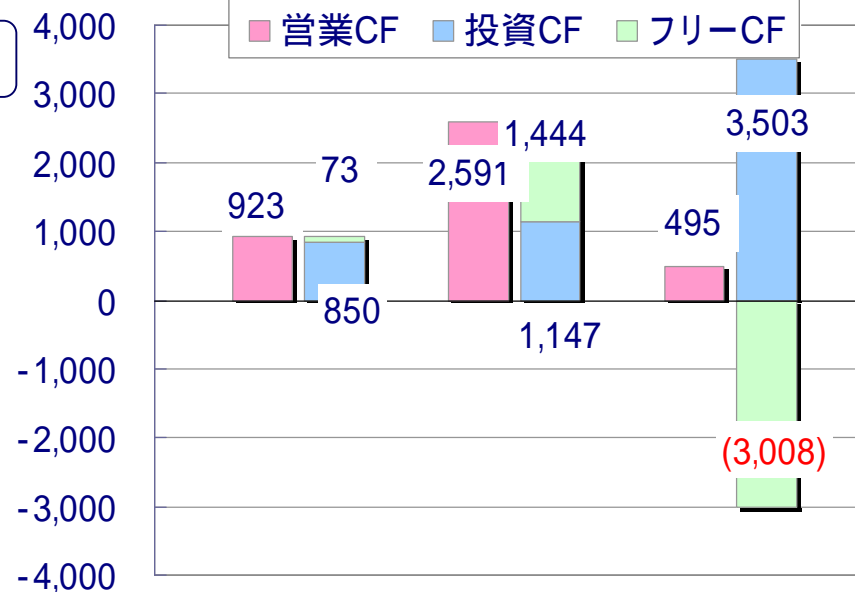
NSC社増資による

収入分の減少 431

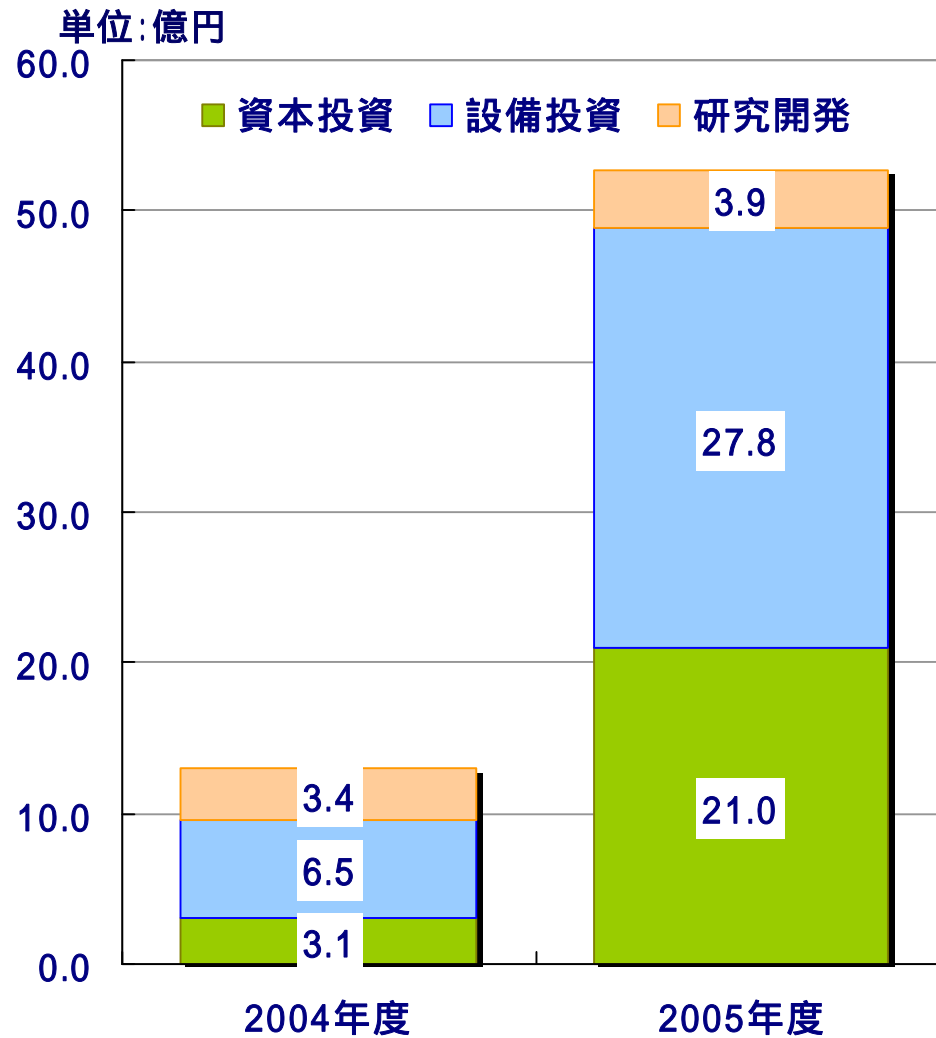
長期借入返済額増加

312

フリーキャッシュフロー



■投資実績(連結消去前)



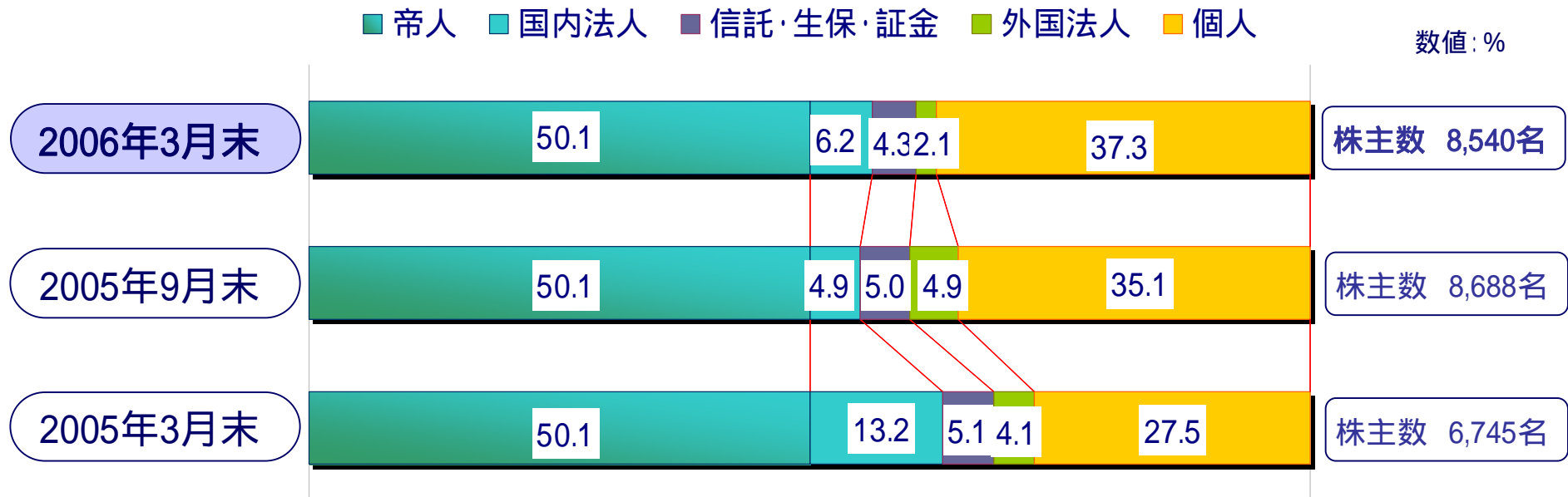
設備投資・研究開発投資

・新横浜センター自社保有	15.1
・EMCバージョンアップ	3.3
・GRANDIT機能強化	3.0
・産学協同研究	0.7

資本投資

・新規子会社化	
コンピュータシティ	3.1
SYSCOM	2.9
ロゲイット	7.5
・追加投資	
NSC	7.5

■株式の状況 属性別株主比率



大株主 等

帝人(株)	72,200株	50.13%
双日(株)	7,200株	5.00%

2006年度業績見通（2006年4月～2007年3月）

経営戦略
セグメント別通期業績見通
通期業績の見通

■新経営理念

企業理念	インフォコムグループはITの進化を通じて社会のイノベーションに貢献します。
経営方針	利益ある成長を持続して企業価値の最大化をめざします。 スピードある経営をおこないます。 コンプライアンスを規範とした経営をおこないます。
行動指針 5つのS	MS (Superior Moral Sense) 高い倫理感に基づく行動を、何よりも優先します。 CS (Customer Satisfaction) お客様の立場を常に考えて行動します。 ES (Employee Satisfaction) 働き甲斐のある企業文化の醸成に努めます。 FS (Frontier Spirit) 変化を恐れず、絶えず新しい価値の創造にチャレンジします。 PS (Professional Spirit) 技術と洞察力に秀でたプロフェッショナルをめざします。
キャッチフレーズ	“ United Innovation ” Infocom Group

■経営戦略

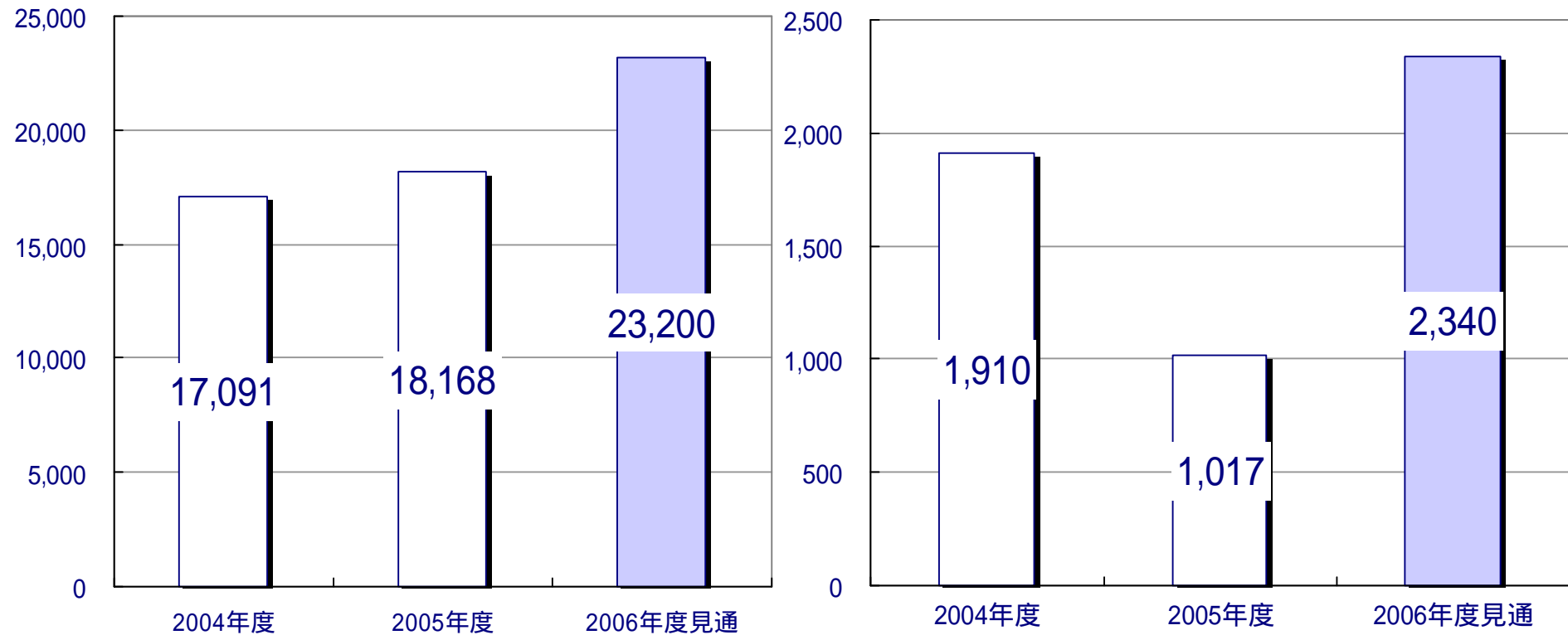
インフォコムグループ3ヵ年経営計画(2005/4~2008/3)の
達成に向け、以下の経営戦略を積極的に推進

グループの 拡大と一体経営	事業提携や資本提携等適切な資本投資を積極的に推進 グループ会社との一体経営の深化
新成長事業の育成	GRANDIT事業 コンソーシアム拡充、デファクトスタンダード化 携帯電話ポータルサイト事業 より魅力あるメディアに 戦略的事業パートナーとの提携による事業拡大 フロンティア事業 現構成事業の体質改善の加速 次期新規事業の育成
海外事業の 展開と拡大	SYSCOM社を核に在米日系企業向けのサービス拡充 ネットワークインフラ事業 英語版GRANDIT本格展開 国内外3拠点によるデータセンターサービス
サービス事業の 開拓と加速展開	自社保有データセンターによる新サービスの展開 新たなサービス事業創出

■ソリューション・セグメント 通期業績見通 百万円単位

売上高

営業利益

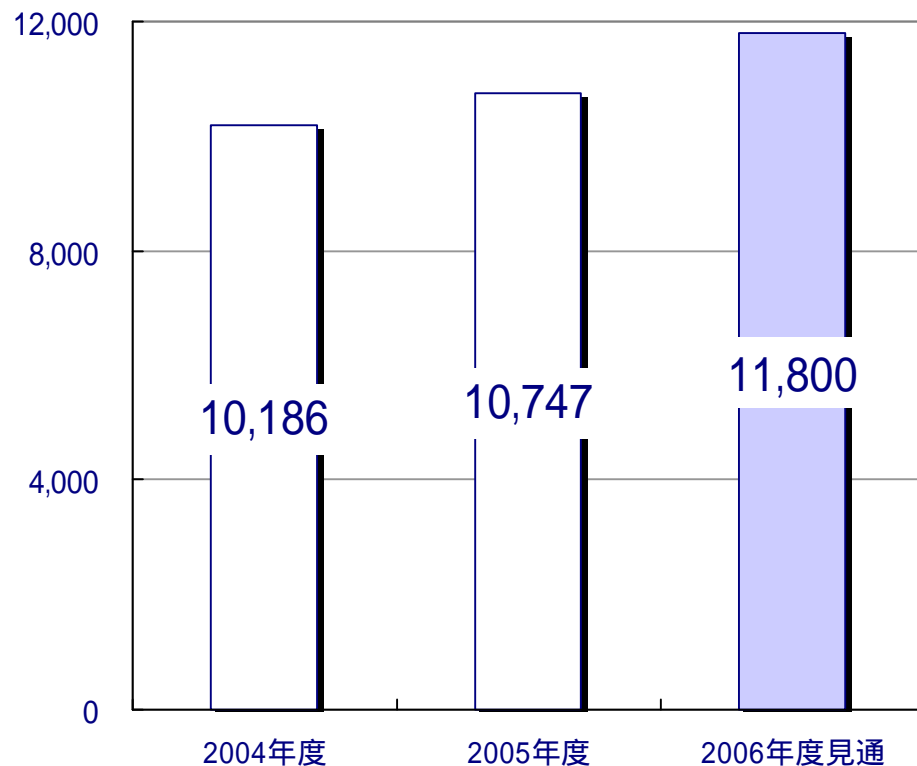


大口主要顧客向け
エンタープライズ
モバイル
ECM領域
医療情報

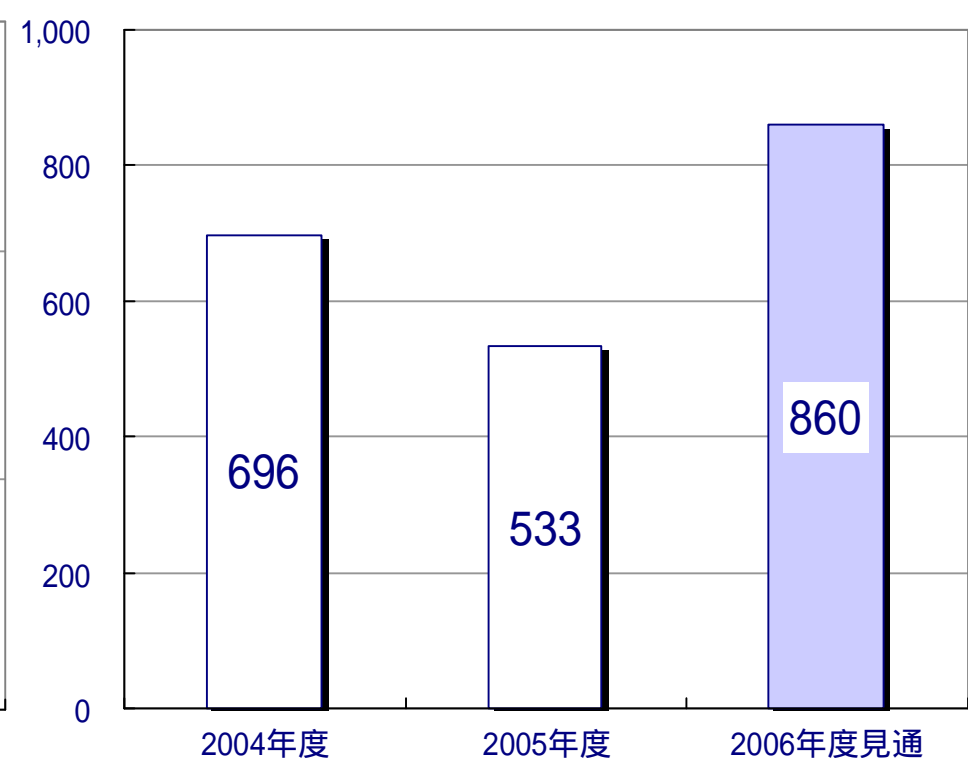
総合的ITソリューションの提供の継続と充実
GRANDIT事業の積極的推進、新規コンソメンバー加盟
イメージシティ社、ロゲイット社との連結効果
日本版SOX法対応や内部統制機能強化関連製品拡充
需要は堅調、一段の体制強化とソリューションの拡充

■サービス・セグメント 通期業績見通 百万円単位

売上高



営業利益

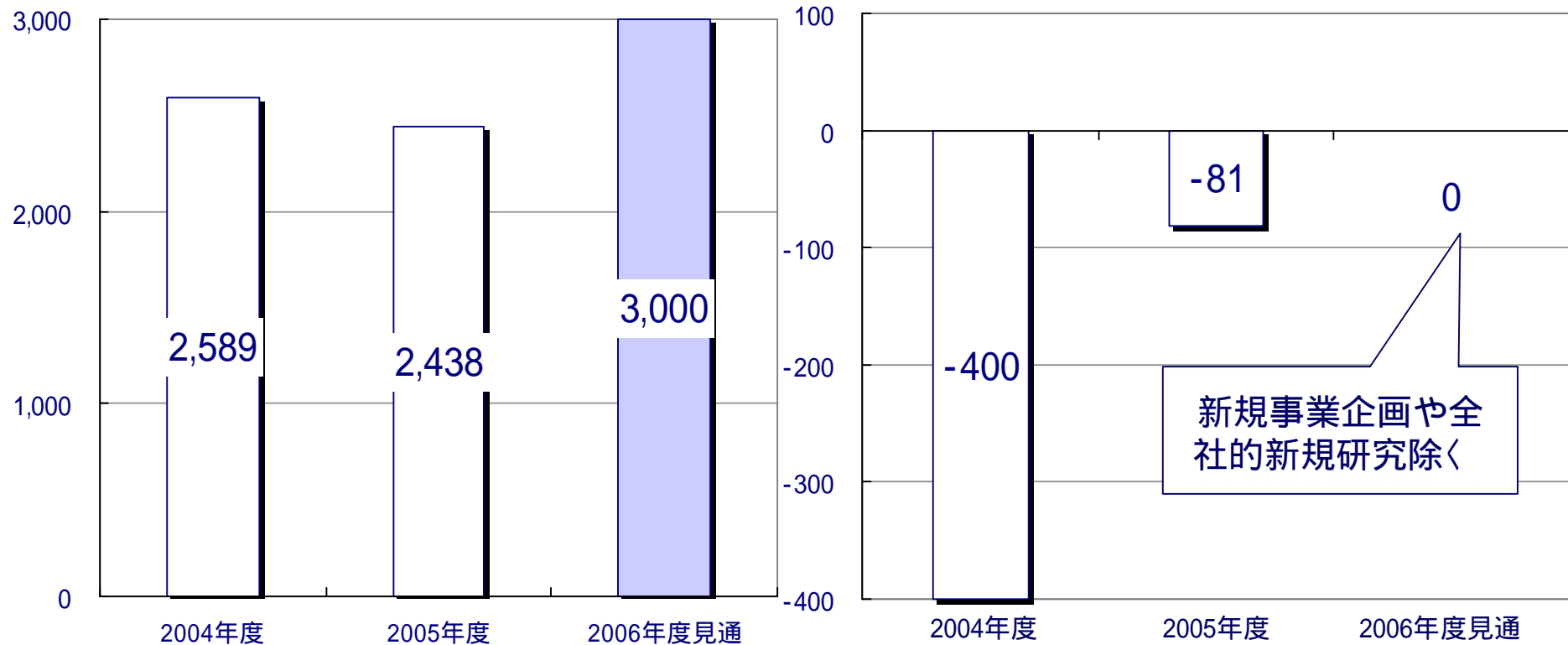


- | | |
|----------|---|
| データセンター | ・自社保有を契機とした積極的な事業拡大、サービスの多様化
ユーティリティコンピューティングや
ディザスタリカバリーサービス(オージス総研社と協業)へ進出 |
| インフォコマース | ・コンテンツ配信事業や携帯電話ポータルサイト事業のサービス充実
・音楽系 着メロ等は現状維持、新規サービス事業の立上げを企図
・コマース系 eコマース事業の拡大
・ニュース系 戦略的事業パートナーとの提携、単年度収支均衡 |

■フロンティア・セグメント 通期業績見通 百万円単位

売上高

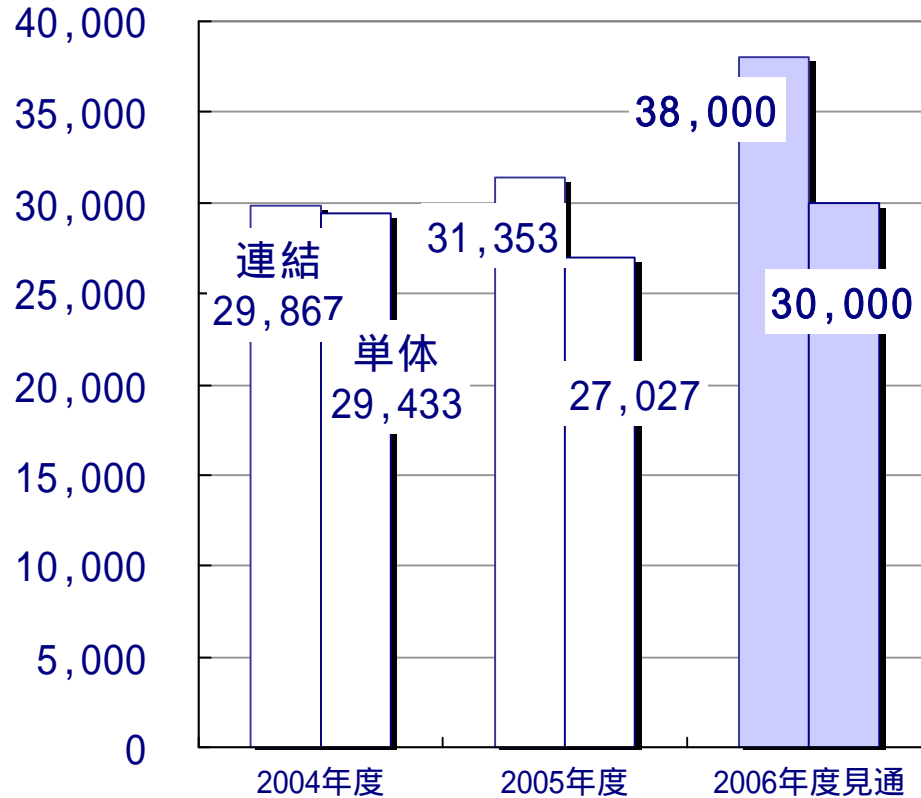
営業利益



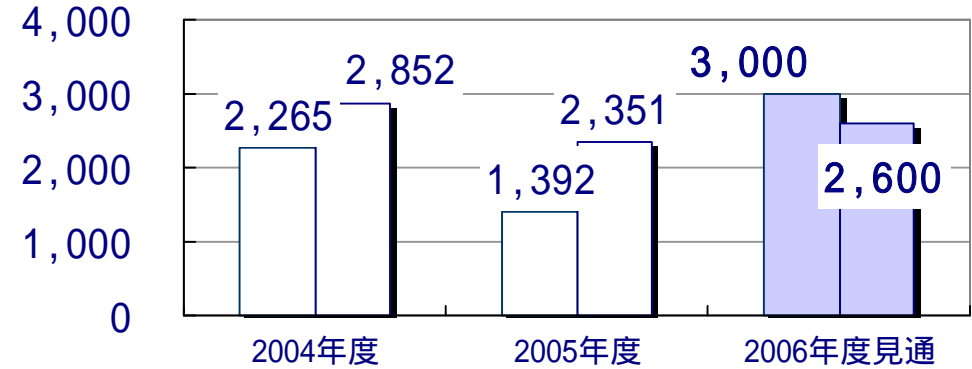
バイオサイエンス	受託試験サービスの積極的展開
デジタルアーカイブ	地域統合情報サイト/デジタルアーカイブ領域に集中
知的財産システム	NRIサイバーパテント社との提携を活用し、 政府のプロパテント政策に対応
セキュリティ	当セグメントに組み込み、体質改善を図る

■通期業績の見通 百万円単位

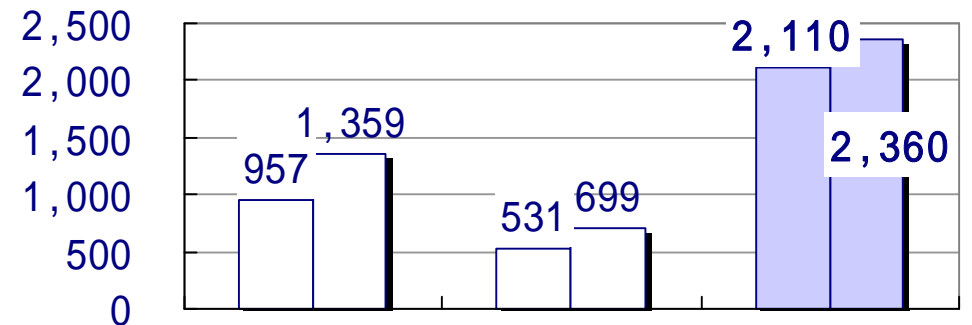
売上高



経常利益

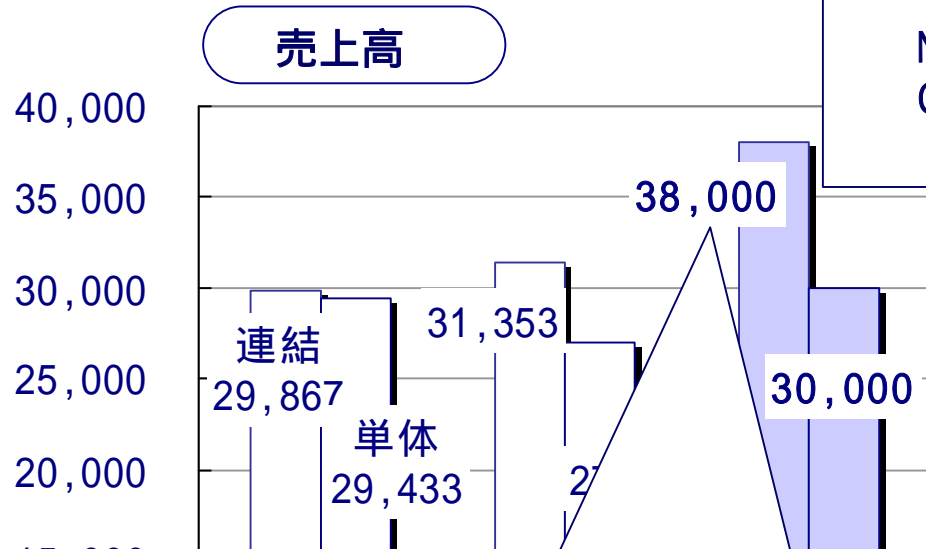


当期純利益

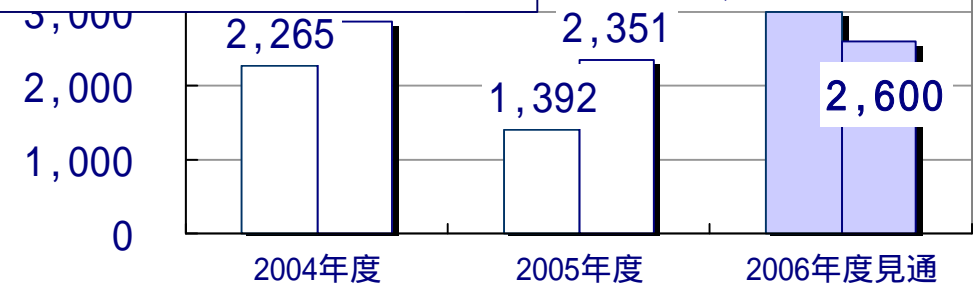


2004年度	2005年度	2006年度見通	連結	単体	2004年度	2005年度	2006年度見通
29,867	31,353	38,000	売上高	29,433	27,027	30,000	
2,265	1,392	3,000	経常利益	2,852	2,351	2,600	
957	531	2,110	当期純利益	1,359	699	2,360	
7.6%	4.4%	7.9%	経常利益率	9.7%	8.7%	8.7%	

■通期業績の見通 百万円単位

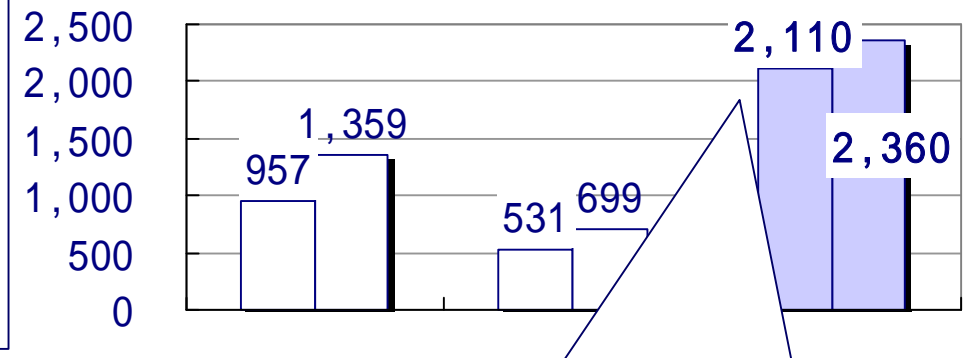


主たる要因
NSC社体質改善効果発現
GRANDIT事業拡大



主たる要因
GRANDIT事業拡大
双日グループ等企業、医療機関向け
デジタルコンテンツ管理ソリューション
データセンター等サービス展開
05年度新規連結子会社寄与

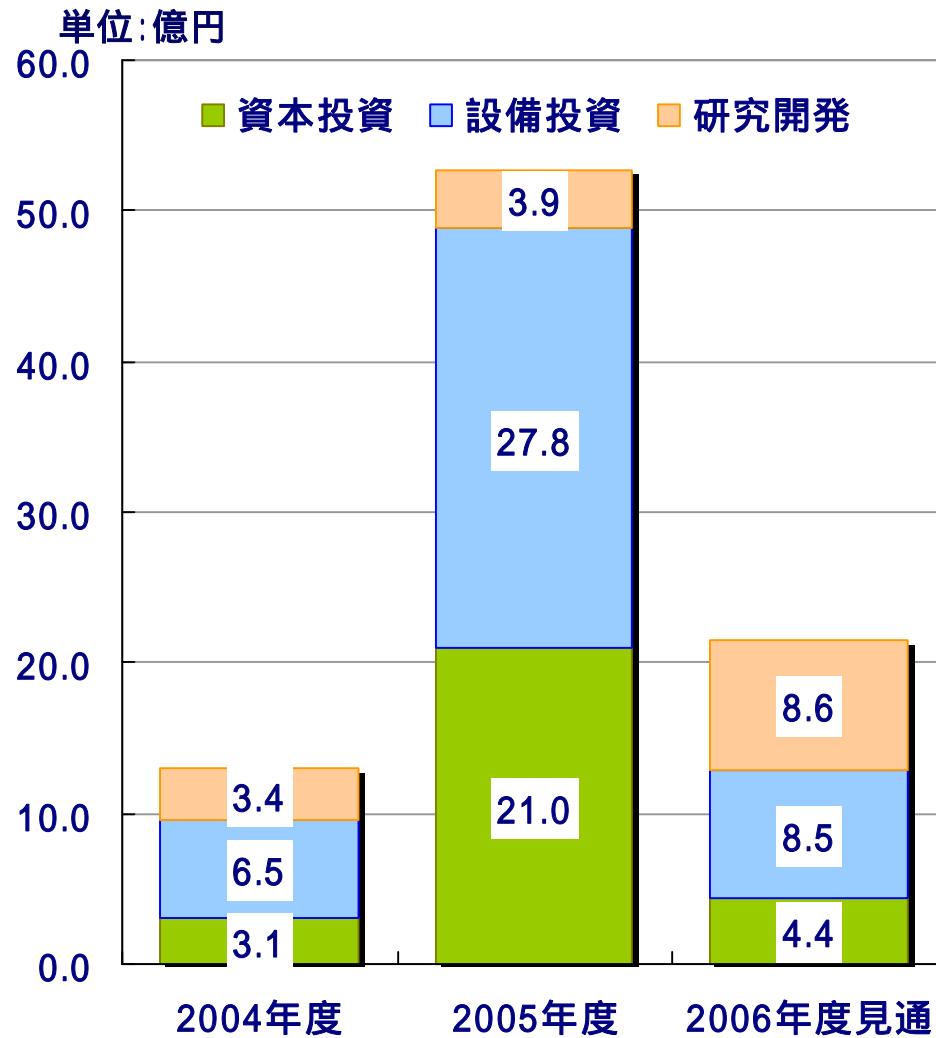
当期純利益



2004年度	2005年度	2006年度見通	連結
29,867	31,353	38,000	売上高
2,265	1,392	3,000	経常利益
957	531	2,110	当期純利益
7.6%	4.4%	7.9%	経常利益率

主たる要因
特別損益
自社保有新横浜センターの敷地一部収容
当社グループ所有固定資産評価の見直し等

■投資計画(連結消去前)



研究開発投資

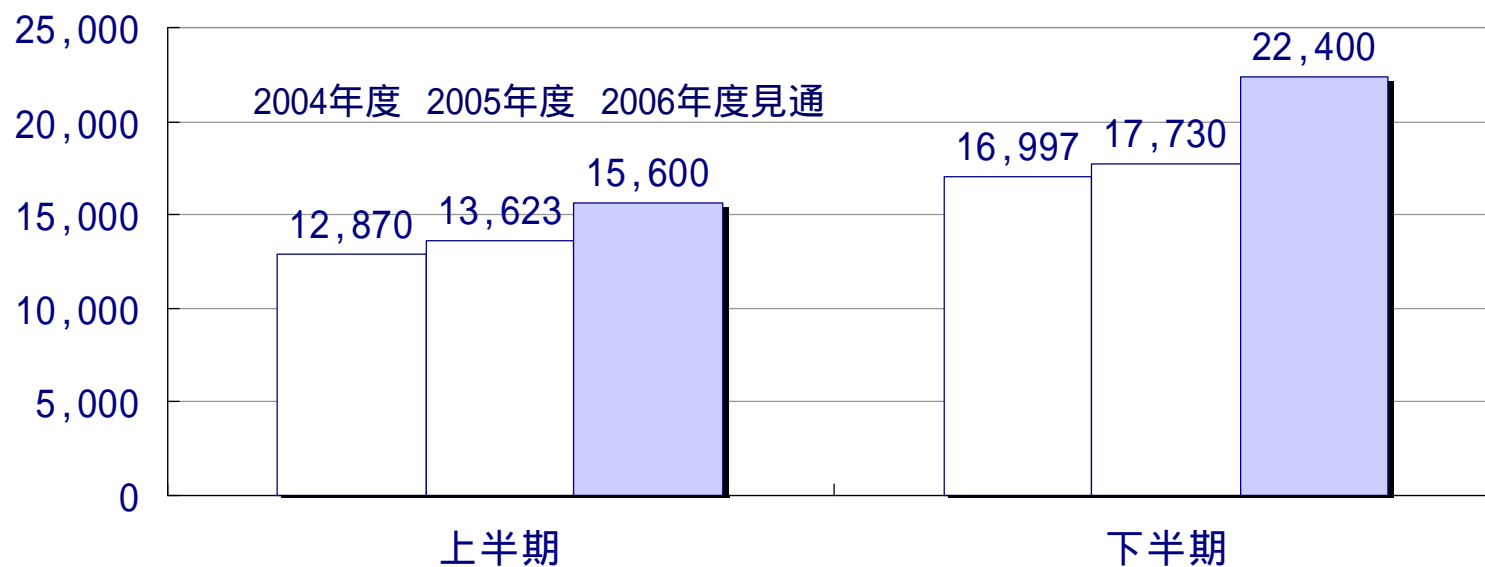
・GRANDIT機能強化	3.6
・ECM内部統制関連強化	1.0
・産学協同研究	1.0
・ソリューション系研究	2.0

設備投資

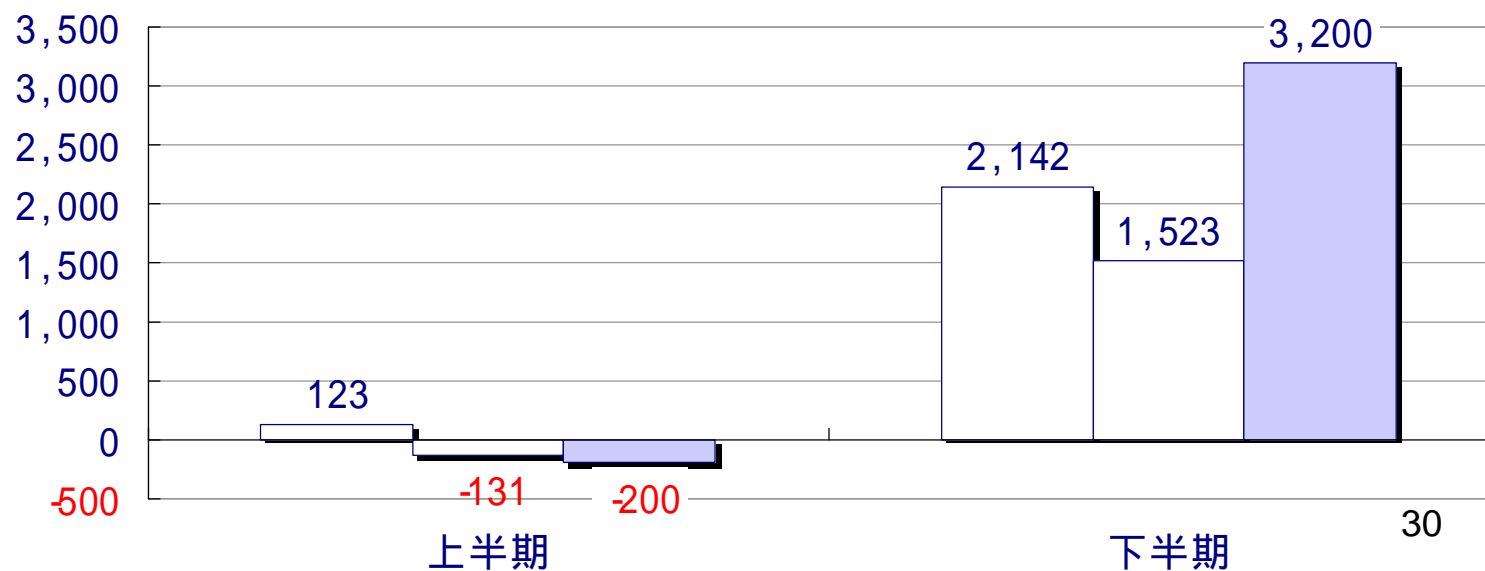
・新横浜センター設備更新	2.0
・サービス系システム投資	4.0
・社内基盤整備	1.5

■半期別業績推移 百万円単位

連結売上高



連結経常利益



United Innovation **infoocomgroup**

インフォコムグループは、
ITの進化を通じて
社会のイノベーションに貢献します。

業績見通等に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

本資料は、2006年4月28日17時30分に行なった、当社「平成18年3月期 決算短信(連結)」に関する発表に基づくものです。